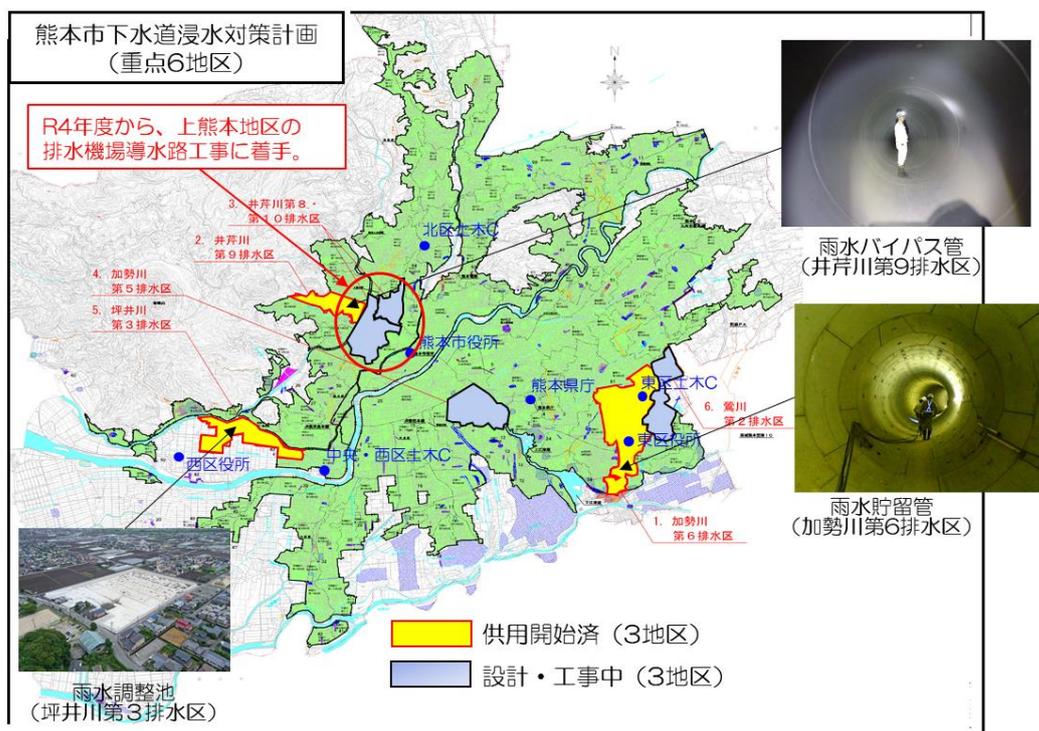


○報告の趣旨

本市では、平成20年度に策定した熊本市下水道浸水対策計画において、浸水被害が特に大きい地区を優先的に整備する浸水対策重点6地区を選定し、浸水被害の軽減に向けた取組を進めている。

これまでに、重点6地区のうち、調整池や雨水貯留管等、3地区の施設の供用しており、浸水被害の軽減に効果を発揮している。残りの3地区についても工事に着手する等、事業完了時期が概ね見えてきたことから、現在、令和5年度内を目標に次期浸水対策計画【(仮称)熊本市下水道浸水対策計画2023】の策定作業を進めている。本日は、次期計画の骨子について報告するもの。



熊本市下水道浸水対策計画 (重点6地区)

年次予定	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
井芹川第9排水区	対策工事				
井芹川第8・10排水区	用地取得・設計		対策工事		
加勢川第5排水区	設計		対策工事		
鷺川第2排水区	設計	対策工事			
次期浸水対策計画の策定	基礎調査 (計画策定)	基礎調査 (シミュレーション)	計画策定		対策地区の設計
			対策地区の設計		次期計画に基づく事業の開始

熊本市上下水道事業経営戦略前期実施計画より抜粋

○報告内容

- (仮称) 熊本市下水道浸水対策計画 2023 骨子案 別添